

指定管理者の指定管理に関する評価シート

1 指定概要

施設概要	名称	放課後かまくらっ子にかいどう・鎌倉市にかいどう子どもの家「めだか」
	所在地	鎌倉市二階堂912-1
	名称	放課後子どもひろばいなむらがさき・鎌倉市いなむらがさき子どもの家「いなほ」
	所在地	鎌倉市極楽寺3-2-3
指定管理者	名称	株式会社明日葉
	住所	東京都港区芝4-13-3PMO田町東10階
指定管理期間		令和5年（2023年）4月1日～令和10年（2028年）3月31日

2 評価

（1）管理運営の状況

項目	評価内容	適否
開館時間、休館日等	仕様に定められた開館予定日数、開館時間は守られているか。	○
管理運営体制	①利用者数は適正か	○
	②業務執行体制（各業務、作業の責任者等）が明確になっているか。	○
	③業務に必要な職員数は確保されているか。	○
	④管理運営及び業務に必要な有資格者を必要数配置しているか。	○
施設管理体制	①利用実績に関する帳簿が作成され、適切に保管されているか。	○
	②業務日誌等の報告書、点検記録は適切に保管されているか。	○
	③生じた事故の記録は保管されているか。	○
研修体制	計画的に研修等を実施しているか。	○
市との連絡	①各報告書や事業計画書が適切に提出されているか。	○
	②緊急時の連絡体制が明確化されているか。	○
再委託等	①指定管理業務の全部、または主たる業務を第三者に再委託していないか。	○
	②市の承諾なしに、業務を第三者に委託、請け負わせていないか。	○
	③再委託先から適切に業務報告をさせるなど、再委託先の業務を適切に管理しているか。	○
利用許可	①利用者の平等な利用が確保されているか。	○
	②利用までの手続きが円滑に処理されているか。	○
利用料	①利用料の徴収は適切に処理されているか。	○
	②利用料の減免の手続きは適切に処理されているか。	○
施設等の維持管理	①法定保守点検は点検内容、時期等が法令基準に基づき確実に実施されているか。	○
	②点検によって異常等が認められた場合、速やかに修繕、交換及び調整等の適切な処置が実施されているか。	○
	③施設、設備等が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか。	○
備品の維持管理	備品の保管及び管理は適切であるか。	○
施設等の清掃	整理整頓及び定期的な清掃が適切に行われているか。	○
危機管理等	①（夜間等）職員不在時の警備体制が明確化されているか。	○
	②不審者等に対応するためのマニュアルが整備されているか。	○
	③鍵の管理は適切に行われているか。	○
	④災害発生時のマニュアルは作成されているか。	○
	⑤災害発生等を想定した避難訓練を年2回以上実施しているか。	○
情報管理	個人情報等の管理が適切に行われているか。	○

（2）経営の状況

資格	指定管理者の申請資格に抵触する事項はないか。	○
収支状況	適正な経費の執行管理が行われているか。	○

適否基準

「○」：適切である。

「△」：概ね適切である。

「×」：適切でない。

3 利用者意向調査の結果

(1) 指定管理者が行った利用者意向調査の結果

①利用者意向調査の実施内容	ア 調査方法 指定管理施設において、紙媒体による実施。 無記名にて記入のうえ、施設へ直接提出。 イ 回答者数 46人 ウ 質問項目 別紙参照。
②調査の結果	別紙参照
③調査の結果得られた主な意見・回答	【にかいどう】 かまくらっ子に対して ・クラスが離れてしまっても遊べる場所なので楽しいと話している ・保護者の都合で利用することがほとんどなので、本当は友達と遊びたいと感じている ・家庭ではできないような遊び等ができるのが満足 ・毎日行っていると飽きてしまっている ・かまくらっ子で友達もできている ・家では遊べないおもちゃや漫画がある ・保護者が休みの日でも学童に行きたいと子どもが言う ・子ども自身が学童を特別な楽しい場所と認識している スタッフに対して ・いつも親切に接してくれている ・笑顔で接してくれる ・学校での心配事も含めてかまくらっ子で見てくださった ・子どもが過ごしやすい環境を作ってくれている ・外で偶然会った時にも笑顔で話してくださる ・電話対応の際に暖かい感じを受け取れる ・お迎えの際にかまくらっ子内での様子を話してくれる プログラムに対して ・工作系はとても楽しんでいるが、音楽系などは鑑賞のみの場合があるため、がっかりする ときがある ・家では体験できないようなことができる ・選択肢が多い ・種類や回数が増えると良い。家の子のみのプログラムが欲しい ・工作系のプログラムは家でできないのでとてもうれしい ・低学年向けのプログラムであれば参加したがる ・保護者参加型のプログラムがあるといい

	【いなむらがさき】 かまくらっ子に対して ・プログラムが楽しい ・家がない本がかまくらっ子にあり、その本を読めるから楽しい ・仲のいい友達がいれば楽しいがいらないとつまらないと感じるみたいです ・他の学年の児童と遊べるのが楽しい ・子供が嫌がらずに来所するのでどちらでもない ・家とアフターで使えるおもちゃが異なり、アフターになるとつまらないと感じる スタッフに対して ・丁寧で細やかな対応をして下さりありがとうございます ・お迎え時にその日あったエピソードを話してもらえるのが良い ・困ったときに相談に乗ってもらえる ・職員同士で連携が取れていないと感じることがある ・保護者に寄り添っていただけないときを感じる ・子どもが納得していない理由で怒られる時がある ・子どもたちに愛情をもって接しているのが感じ取れる プログラムについて ・家ではなかなかできない制作物ができるので満足している ・習い事が入っていて、利用できない曜日にプログラムが入ってしまい参加できないことが多い ・体を動かすものがあって嬉しい ・紙媒体でプログラムの申し込みをするのが大変 ・地域の方や大学生の方と関われるプログラムがあり、満足している
--	---

4 指定管理者による自己評価

(1) 利用者の要望等を把握し、それらを反映する取組についての評価

年2回の対面式保護者会を行うことによって直接保護者の意見を聞くことができた。また、指定管理者主体の保護者アンケートを年末から年始にかけて実施した。実際に児童の意見も聞くことができた。回答内容については施設と共有し、運営改善に向けた本部職員と現場職員の間で話し合いの機会を設けた。

(2) 様々な媒体を用いた利用者への情報提供についての評価

入退室管理システム内のメール機能を用いて、保護者宛に情報提供をしました。プログラムカレンダーにおいては、学校の協力のもと、掲示等させていただきました。チラシを団体からいただいた場合に関しては、施設内に掲示いたしました。

(3) 全体的な評価

- ・指定管理者として初年度であるため、今までの運営を踏襲しながら、株式会社明日葉のノウハウを合わせて運営をすることができた。
- ・プログラムについては、コーディネーターを中心とし、地域の方をお招きしたプログラムをはじめ、当社独自のプログラム、「リーフスポーツ」「ヨーヨー教室」「あそぼーる」を実施した。また、いなむらがさきにおいては立地条件を活かしたプログラムを開催することができた。大学教授を招き、海岸で海洋プラスチックを回収し、環境問題やSDGsに関連した学びの機会と海洋プラスチックでキーホルダーを制作する工作をハイブリットで行うことができた。
- ・次年度、にかいどうの乳幼児親子の利用については、イベントの企画を行い、利用増加に向けた周知を行う。いなむらがさきにおいては立地条件で保護者目線から利用のハードルが高いと思われる。学校と市と協議を行い、環境を整備していく。
- ・職員向け研修については、多様な児童理解や応急救護の研修など多岐に渡る研修を実施した。
- ・メールの誤送信という重大な事案も発生した。今回の反省をもとに個人情報の取り扱いの研修を受講し、再発防止に努めた。

引き続き児童の安全安心を守りながら未来につながる運営を実施してまいります。

5 総合評価

総合評価
・視察時には、支援員が子どもたちとのやり取りのなかで、子どもたちの声に耳を傾け、子ども達の「やりたい」をなんとか実現しようとするやりとりが見られた。また、子どもたちを迎える際に、にこやかに挨拶する姿が多く見られ明るい施設運営に取り組んでいることが見受けられた。 ・保護者アンケートから、スタッフの対応について良い評価を大多数から得ており、子どもとその保護者に向けた適切な施設運営を実施していることが見受けられ高く評価できる。 ・定期的にプログラムを実施していることは評価できるが、今後はこれまで実施していないスポーツや親子プログラムなどより多様なプログラム展開を期待する。 ・報告書にはプログラムの様子や、日々の活動の様子等を写真などを活用することや、グラフにパーセンテージを標記するなど、わかりやすい報告書を作成すると良い。 ・アンケートについて、保護者の意見をより詳細に把握するために、質問項目を増やす、自由記載の質問項目を増やす等の工夫を期待する。

6 放課後かまくらっ子推進部会の意見

・支援員の子どもへの姿勢に工夫がみられる。子ども主体の支援のあり方を意識し積極的に取り組んでいる。 ・子どもの満足度を保護者が把握しており、保護者が施設の運営（スタッフの接し方、プログラムの内容）に肯定的であることがわかる。 ・プログラム内容について大変興味深いのは、体験型活動の命名において子どもたちの関心が高まるようなユニークさがあることである。工作遊びをする場合でも「カエルの合唱工作」、音楽遊びでは「いるかとくじらの音楽会」「アフリカの太鼓であそぼう」、言葉遊びでは「ちょっと怖いお話会」「新しい漢字を作っちゃおう」等子どもも保護者もわくわくするようなネーミングは、学校教育ではあまり取り入れられていない用語であり、「かまくらっ子」の活動ならではの特別感が感じられて良い。 ・コーディネーター中心の計画プログラムが充実する一方で、運営側独自のプログラム開催が効果的であったことが伺え、評価できる。 ・活動報告書には、日々の活動の実態が可視化できる「写真とコメント（子どもの様子が伝わるもの）」を追記することが望まれる。
